

いいだ

# 市議会だより

No. 200

平成28.7.19

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町



## 第2回定例会開催 ズバリ市政を問う(一般質問)

②

④ ⑤

11回目を迎えたツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ  
今年からホームチームが設定され、南信州ステージは  
片山右京氏の率いる「チーム右京」を応援しました。

# 第2回定例会

# 平成28年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案など

# 30議案を可決・同意

## 定例会のあらまし

第2回定例会は、5月24日から6月15日まで23日間の会期で開催しました。

飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について、平成28年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案など、30件が上程されました。うち19件は市長からの報告で、そのほかの11件の市長提出議案について人事案件5件を本会議で同意し、6件を所管の委員会へ付託し、慎重な審査の後、いずれも本会議で原案のとおり可決しました。

第1回定例会から継続審査となっていた陳情1件は、採択しました。また、一般質問では21人の議員が市政全般について質問を行いました。これについては、4ページから紹介します。

## 議案に対する質疑と審査

11件の市長提出議案、陳情については、総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、6ページから各常任委員会のページで紹介しています。

## 本会議での反対の意思表示

次の議案について、原案のとおり可決するとした総務委員会の審査結果に対し、反対の意思表示がありました。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

議案第73号「平成28年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案」(概要は8ページを参照)

## 陳情の送付

産業建設委員会で審査し、採択した陳情第2号の2について、全会一致で議決し、市に送付しました。委員会における陳情の審査は8ページで紹介しています。

## 同意した人事 (敬称略)

○中央財産区管理委員

丸上 順三、井伊 徳廣

○松尾地区財産区管理委員

小木曾 俊夫、岡島 俊廣、安野 正和

○鼎財産区管理委員

安田 完爾、下村 隆成、原 亮弘

関口 收司

○東野財産区管理委員

石田 武男、阿部 吉数

○千代財産区管理委員

山田 久吉、田近 利昭、柏木 清己

## 代田教育長あいさつ



あいさつする  
代田昭久教育長

新教育委員会制度による教育長として、初めての議会出席となった代田昭久教育長から、「4月下旬から、小中学校28校すべてを視察し、飯田の『地育力』という言葉が浸透し、大きなうねりになり始めていると感じた。一方で、リニア時代を見据えた未来を考えたときに、今日的な課題や将来的な課題もいくつか見えてきた。スピーディーに慎重な議論を重ねながら、解決していきたい。行政、議員の皆さんと丁寧な議論を積み重ね、飯田市政が大きく邁進していきように、議会の皆様と両輪となって頑張っていきたい」とあいさつがありました。

## 「飯田産の地酒及び果実飲料で乾杯する条例(仮称)」(案)についてご意見をお寄せください

市議会では、「飯田産の地酒及び果実飲料で乾杯する条例(仮称)」の制定を目指しています。

この条例は、飯田産で製造されまたは飯田産で採れた果実を使って製造される酒類及び果実飲料で乾杯することを通して、農産物の地産地消を推進し、地域を愛する心を醸成する機会とすることを目的としています。この条例案についてご意見を募集します。

### 意見の募集期間

7月25日(月)から8月23日(火)まで

### 閲覧場所

- 議会事務局
- 市役所A棟2階 行政資料コーナー
- りんご庁舎 市民証明コーナー
- 各自治振興センター
- 飯田市公民館、橋北・橋南・羽場・丸山・東野公民館

\*市議会の公式ウェブサイトでも閲覧できます。  
<http://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>

### 閲覧時間

午前8時30分から午後5時15分まで(土日祝日除く)

### 意見の提出方法

意見書に住所、氏名(法人、その他の団体にあつては主たる事務所の所在地、名称、代表者氏名)を明記の上、閲覧場所へ持参いただくか、郵送またはFAX、Eメールにより下記まで送付してください。

### 問い合わせ・意見書送付先

〒395-8501 飯田市大久保町2534番地  
 飯田市議会事務局  
 TEL 0265-22-4523 FAX 0265-53-8821  
 E-mail: igikai@city.iida.nagano.jp

## 平成28年度 議会報告会の日程が決まりました

ブロック	地区	開催日	会場
竜東	下久堅 上久堅 千代 龍江	9月29日(木)	千代公民館
遠山	上村 南信濃	9月30日(金)	飯田市南信濃地域交流センター
西部	三穂 山本 伊賀良	10月3日(月)	飯田市世代交流センター(山本公民館)
中部	松尾 竜丘 川路 鼎	10月4日(火)	飯田市生涯学習センター(竜丘公民館)
北部	座光寺 上郷	10月5日(水)	座光寺公民館
飯田5地区	橋北 橋南 羽場 丸山 東野	10月6日(木)	飯田市役所

各地区のまちづくり委員会のご協力をいただき、今年度の開催日程が決定しました。

議会報告会は、市議会が保有する情報を公開し、日頃の議会活動について報告することにより、市民の皆さんと情報を共有する機会です。

また、市民の皆さんから広く意見や要望を聴き、議会として地域課題の研究や政策立案等に取り組み、市側への提言等を行うことで、市民の議会活動への参加を推進し、より開かれた議会運営につなげていきます。今年度、竜東ブロックでは、初めて千代公民館で開催し、飯田5地区ブロックは、耐震改修工事が完了した市役所庁舎を会場に開催します。今後、意見交換会のテーマを設定して周知させていただきます。

今年で9回目を迎えますが、幅広い世代の皆さんからの意見や提案をお寄せいただき、より充実したものとしていきたいと思っております。多くの皆さんの参加をお待ちしております。



昨年度の議会報告会の様子

# ズバリ 市政を問う

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。  
第2回定例会での一般質問の概要を紹介します。(質問順)

※■は、他の質問項目

## 飯田市の業務継続計画の策定は

**福沢 清議員**(会派みらい)  
**Q** 飯田市の業務継続計画の策定については、いつまでに取り組むか。  
**A** 現在、一冊にまとめた計画書はないが、地域防災計画でも実効性をほぼ満たしていることから、災害時にも大きな問題にはならないと考えている。市の業務継続計画については、市内の業務を整理して、今年度中の早い時期に完成を目指して取り組んでいきたい。

## ■公契約条例について

## 防災士の知見・指揮能力の活用は

**原 和世議員**(会派みらい)  
**Q** 地域の自主防災会の人材として防災士の知見・指揮能力を活用してはどうか。  
**A** 防災士制度が変更され、消防団団長経験者は試験不要で資格を付与される。27年度から、初年度登録料を消防団で費用負担している。地域の防災力向上のため、一定以上の知識を持つ方が自主防災会活動で活躍することは理にかなっている。持続した組織となるよう役員改選に工夫を始めた地域もあり、自主防災会活動が活性化し、平時も有事も機能するように引き続き支援していく。

## 音楽鑑賞教室のように文化・芸術の本物に触れる機会に平等であるべきと考えるか

**竹村 圭史議員**(会派のぞみ)  
**Q** 文化・芸術の本物に触れる機会は大人の判断によって左右されることは避け、

機会は平等であるべきと考えるが市長及び教育長の考えは。  
**A** 本物の文化・芸術をあまねく地域の子ども達に触れる機会を持たせることが基本であると共に、公教育においては、平等に本物の文化・芸術に触れる機会を与えられるべきであると考えている。

## ■首長の多選問題をどう考えるか

**井坪 隆議員**(会派みらい)  
**Q** 全国の自治体には3期までを目途とする多選制限や多選自粛の動きがある。市長の4期目の挑戦にあたって、首長の多選問題をどう考えるか。  
**A** 首長の多選問題に関して、全国的に多選制限や多選自粛の動きがあることは承知している。一般論でいえばそういった動きがあるのだからと受け止めている。これは、それぞれの地域によって、有権者の皆さんに決めてもらうことだと思ふ。

## ■教育長の所信について

## ■市民への通知文書はわかりやすいものになっているか

**木下 徳康議員**(会派のぞみ)  
**Q** 「市・県民税の課税地」についての市民への照会通知は妥当か。  
**A** この通知を送る対象は、住民登録がなく、生活の拠点を置いている場合と、住民登録があるが、住所・氏名・生年月日が一致していない場合の2つのパターンに大別される。同一文書で通知しており、住民登録がある方にとっては、違和感がある内容であった。今後は、対象者に応じた

通知文を送り照会方法を工夫していきたい。  
ふるさと納税について  
障害者差別解消法への対応に障がい者の声を反映したものにしては

**小倉 高広議員**(日本共産党)  
**Q** 障がい者が政策づくりにおいて主人公であることが当たり前であるような取り組み、仕組みづくりを飯田市でも検討してはどうか。  
**A** 今回の地域福祉計画の中で様々なかたちでいっただく意見をしっかりと煮詰めて反映していきたい。

## ■地域福祉計画について

**清水 可晴議員**(市民パワー)  
**次期総合計画の策定に関する市長の時代認識は**  
**Q** 時代認識として、様々な見方があると思うが、市長は30年先をどう見ているか。  
**A** 格差社会が拡がり、生活困窮者が増えている実態は大きな課題と認識している。人口減少、少子化、高齢化が進む中で、行政だけでなく、多様な主体による協働によるまちづくり、産業づくり、人づくりが問題解決のカギを握ると思う。リニア、三遠南信道という環境変化をチャンスと捉え、全国、海外にも発信し得る地域づくりができるか重要な時期になってきたと思う。

## ■食品ロス削減対策への取り組みは

**林 幸次議員**(公明党)  
**Q** 市民への啓発活動や家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用への取り組みを推進すべきでは。  
**A** 環境文化都市を掲げ、循環型社会を推進しており、重要な課題として認識している。市では県の「食べ残しを減らそう県民運動」を推奨して一緒に取り組んでいる。家庭由来が半分を占めるので、ごみ減量につながるリデュースの視点に消費者教育推進の視点を加えながら、「食べ残しを減

らそう県民運動」に参加するとともに、今後の進め方についても検討していきたい。  
■飯田市立病院経営について

## ■南アルプス山岳高原観光に対する戦略は

**湊 猛議員**(会派のぞみ)  
**Q** 三遠南信自動車・リニア中央新幹線的全線開通を見据えた南アルプス山岳高原観光に対する戦略は。  
**A** 昨年度、地方創生事業としてユネスコエコパーク・ジオパークエリアの南アルプス4市町村の魅力伝えるフリーペーパーを作成し、誘客に取り組んだ。今後もガイド養成や観光情報アプリの制作、周遊コース整備に取り組む。観光振興から地域振興につなげるよう地域の皆さんと一緒に考えていきたい。

## ■図書館の民間委託をどう考えるか

**木下 容子議員**(市民パワー)  
**Q** 図書館運営に関して、民間委託を安易に進めるべきでないと考えているがどうか。  
**A** 図書館の民間委託は考えていない。飯田市の図書館は、県下に誇れる図書館と認識している。社会教育の学びの拠点として長い年月の中で、読書推進に向けて市民と共に歩んできた。また、市内全域をカバーした図書分館活動は、地域の人材を活用し、広く学びの場を提供している。蔵書の充実では、郷土資料の収集に力を入れてきており、レファレンスも充実している。

## ■熊本の地震から何を学ぶか

## ■B型肝炎ワクチン定期接種対象外の乳幼児への任意助成事業は

**村松 まり子議員**(公明党)  
**Q** A類疾病であるB型肝炎ワクチンの定期接種対象から漏れる1歳児以上の乳幼児についても、公費負担の接種機会を得られるよう、3歳児までは無料で接種できるように任意助成事業を実施できないか。

**A** 定期接種の対象にならず任意接種となるものの助成については、今後も国その他の動向を注視していく。引き続き飯田医師会と連携して医学的見地からのアドバイスをいただきながら研究していきたい。  
**■これからの地域創生について**  
**■障がい者雇用促進について**

**リニア関連事業に伴う住宅移転の対応は**

湯澤 啓次 議員（会派のぞみ）

**Q** リニア関連事業に伴う住宅用地確保についての現状認識、権利者の意向調査は。  
**A** 移転対象の個人住宅は、図上で120棟程度と想定している。移転先の選定に向けた意向調査は、今年度上半期に調査結果がまとめられるような予定で、代替地の希望の有無・種別・希望場所等を伺う内容で実施を計画している。調査は状況により段階的に進めることも考えている。また、代替地として見込む関係者への対応も検討していく。

**巨大地震ハザードマップの作成は**

熊谷 泰人 議員（会派のぞみ）

**Q** 地震のハザードマップを作成して市民に周知すべきと考えるが、どうか。  
**A** 地震ハザードマップは、地震に起因するリスクを地図上に表示して視覚化し、防災対策の必要性を知り、事前行動につなげることに意義がある。一方、他の場所との比較で、自分は大丈夫と本来すべき備えを怠る弊害も予想される。当市は、全域どこでも「震度6強」の揺れに対して万全の備えを行うべきとの啓発活動を行っており、今後その方針である。現時点では、地震ハザードマップの作成は予定していない。  
**■体育施設の使用状況について**



**民間企業や法人が集積してきた場合の周辺インフラ整備は**

新井 信一郎 議員（会派のぞみ）

**Q** 介護施設、福祉施設などが集積した場合、周辺のインフラ整備をどう進めるか。  
**A** 開発行為は個別に手続きされるが、結果的に集積されていくこともある。課題に対する地域の考え方もあり、その状況に応じて市も対応してきた。道路改良の要望もまちづくり委員会からの優先順位も変わる。これからの次期総合計画の策定においても、協働してまちづくりしていくためには、各地区から上がってくる声を受け止めながらやっていくことが基本と考える。  
**■お練りまつりから見えた電線地中化推進への取り組みについて**  
**■リニア新時代を迎えるにあたり、地方創生への取り組みを活かした伊那谷の連携について**

**廃棄物堆積問題の再発防止は**

森本 政人 議員（市民パワー）

**Q** 今回の廃棄物堆積についての具体的な再発防止策は。  
**A** 再発防止が重要。類似案件について立ち入り調査を強化して徹底した指導に努める。家電リサイクル法による家電4品目の適正処理について市民への周知を図る。また、この堆積された場所への監視カメラを設置して再発防止を図る。警察署をはじめとする関係機関と連携して同一事案が発生しないように取り組んでいきたい。  
**■産業つくりと雇用の確保について**  
**■多様な主体による協働のまちづくりについて**  
**■福祉医療費の貸付制度をすべての子どもを対象にしないか**

**後藤 莊一 議員（日本共産党）**

**Q** 住民税非課税の低所得の世帯の子どもがいる家庭に、貸付制度申請書を送付するなど周知できないか。  
**A** 現在、対象年齢の世帯数を把握していない。受給者証の掲載や窓口での広報

機能を高めていく。こども医療費給付制度のパンフレットにわかりやすく表記したり、ホームページで制度を案内したりすること、選択肢として機能するよう広報に努めていく。また、世帯数についても何らかの形で把握していきたい。

**飯田市における被災者支援システムの導入は**

永井 一英 議員（公明党）

**Q** 被災者支援システムは、熊本地震の現場に派遣された職員も有効性を認め、国もサポートセンターを設置して導入の支援もしている。飯田市も導入してはどうか。  
**A** 被災者支援システムは、当市職員も必要は承知している。この導入をどう進めていくか大変重要な課題であることも認識している。早期に当市で導入活用していくか、前向きに考えていく。  
**■環境政策について**

**飯田市の教育行政をどう捉えているか**

清水 勇 議員（会派のぞみ）

**Q** 飯田市の教育長に就任し、地育力と地域文化学習、伝統行事などの教育をどのように考えているか。  
**A** 「地育力」とは、地域にある様々な資源と人材にふれる実体験の中で、地域の善さを知り、ふるさとへの誇りや愛着を育んでいく地域としての教育力であると捉えている。また、地域文化や伝統を育んでいく必要がある。学校の教育だけでなく、飯田市の強みである公民館活動も巻き込み、学校教育と社会教育を融合しながら、子どもたちを育んでいきたい。  
**■自転車のまちづくりの取り組みについて**

**飯田市の平和教育に施設の活用はされているか**

古川 仁 議員（日本共産党）

**Q** 満蒙開拓平和記念館や飯田市平和祈念館資料室の活用を考えているか。

**A** 満蒙開拓平和記念館が開館した平成25年度から、中学生の入館料や語り部の講話代、市マイクロスパス手配といった支援を行っている。飯田市平和祈念館資料室は、市民から寄贈された戦時中の資料を保管展示し、毎年夏には平和のための戦争展示実行委員会が開催する戦争展に合わせ、平和資料の展示を行っている。今後も公民館での講座や小中学校での平和学習に、積極的に利用してもらえよう働きかけたい。

**リニア未来都市ブランディング事業の今後の取り組みは**

山崎 昌伸 議員（会派のぞみ）

**Q** 「ナンバーワン」のインパクトは強い。ブランディング事業の一環として、「隠れナンバーワン探し」をしようか。  
**A** 中央公論6月号で、飯伊地区は男性のガン死亡率が日本一低いという記事が掲載された。具体的にこうした資源を掘り起こすには、行政関連のデータの活用と、市民の気づきや発見の能力を活用していくことが重要と考える。今後市民が参画するブランディング事業のプロジェクトの中でも検討していきたい。  
**■行政評価のあり方について**

**飯田市と飯田市土地開発公社との関わりは**

吉川 秋利 議員（会派のぞみ）

**Q** 土地開発公社は、リニア関係の代替地などの業務が拡大するとは思われるが、トラブルが発生した場合の飯田市の責任は。  
**A** 業務の中において発生する事象は、その内容によって対応すると考えている。土地開発公社としての事務上の課題については、公社として対応する。交渉経過において、根本的な土地を取得する課題の解決は、市として対応していく。一連の交渉過程で起きた課題の解決については、市の担当課も責任をもってあたる。  
**■「知の拠点」構想の進捗状況について**

# 総務委員会

4月18日に管内視察、6月7日に委員会を開催しました。委員会での質疑等及び管内視察の様相を紹介します。

## 議案第69号

飯田市条例の一部を改正する条例の制定について

**案件の概要**  
地方税法等の改正に伴い、軽自動車に関する税の名称変更及び一部車種の税率軽減、医療費控除に医薬品等購入費の控除制度の新たな追加などを改正する。

## 改正による市民への影響は

**Q** 今回の改正は、多くの市民にとって不利益となる改正ではない、という理解で良いか。

**A** ご指摘のとおり、市民の税負担が増となる改正内容は、ない。

## 議案第72号

工事請負契約の一部改正について  
(周辺施設整備建築工事)

**案件の概要**  
市庁舎の周辺施設整備建築工事の内容変更により契約金額を増額するもの

## 当初の工事請負契約の前に調査できなかつたか

**Q** 周辺外構工事の増額が大きいが、事前に調査ができなかつたか。

**A** 増額の大きな要因となった暗渠排水路は、地下に埋まっている施設であり、

掘ってみないと分からない状況があった。工事着手後、老朽化が進んでいることが判明したことから、敷設替えが必要となった。

## 議案第73号

平成28年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案

## 飯田市におけるマイナンバー制度のシステム障害の発生状況は

**Q** マイナンバーについては、全国的にシステム障害の発生が報告されている。飯田市の状況はどうか。

**A** 28年1月から3月まではシステム障害の発生があったが、4月以降は安定している。

■質疑の後、反対の立場から討論がありました。

## ★反対討論

この補正予算の中には、社会保障・番号制度(いわゆるマイナンバー制度)に係るものが含まれている。この制度は、情報漏洩等の問題があり、制度そのものに反対する立場から、反対。

■採決の結果、賛成多数で原案どおり可決しました。



稲葉クリーンセンター(下久堅)



廃棄物屋外堆積箇所



鼎名古熊区民会館

## 実施日：28年4月18日

### 調査項目、視察先等

- ①上村小沢川小水力発電事業
- ②上村自治振興センター整備事業
- ③集会所施設整備事業(上久堅森集会所)
- ④稲葉クリーンセンター(下久堅)
- ⑤南信バイオマス協同組合
- ⑥廃棄物屋外堆積箇所
- ⑦コミュニティ助成事業(山本おひさま広場)
- ⑧集会所施設整備事業(鼎名古熊区民会館)
- ⑨飯田市斎苑待合棟改修工事

## 管内視察を実施しました

# 社会文教委員会

4月19日に管内視察、6月8日に委員会を開催しました。委員会での質疑等及び管内視察の様相を紹介いたします。

## 議案第74号

平成28年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案

### 予備費増額の理由は

**Q** 予備費を今回1億9千1百万円増額し、2億9千1百万円とするとのことだが、その理由は。

**A** インフルエンザの大流行等の急な給付に備えて、国が示している予備費の額を用途に計上するものである。

**Q** 国の示した目安どおりの予備費計上がなくとも、今までは運営できていたが、この点についてはどうか。

**A** 例えばインフルエンザの大流行があると、一月で医療給付費が1億円から2億円程度必要と見込まれる。その意味では網渡りの運営を行ってきたということであり、それを解消したいとするものである。

### 医療費抑制のための今後の取り組みは

**Q** 社会文教委員会では、議会報告会を起點として調査研究活動を行っているが、その一環で、飯田下伊那歯科医師会との懇談を行った。その際、定期的・積極的に歯科検診を行っている健康保険組合では、医療費が横ばいあるいは減少しているところもあるとの話を聞き、データもある。また、成人病の起因として歯周病があるとも聞いた。これらのことから、歯科検診が、予防等に効果があることを認識した。飯田市の

国民健康保険事業での歯科検診率を高め、早期発見・予防等を進めることも必要だが、今後の取り組みはどうか。

**A** 歯周病が動脈硬化や糖尿病など他の生活習慣病に影響していることは承知している。飯田市の国民健康保険事業では、40歳以上でも80人程度の受診状況であり、歯科検診勧奨のための取り組みが必要と考える。歯科衛生士も市では配置しているが、学校や乳幼児健診での指導を行っていることもあるので、今後、取り組みを研究していきたい。

**Q** 医療費抑制のための一つとして、糖尿病の重症化防止があるが、そのための対策は行っているか。

**A** 地域健康ケア計画の中で、糖尿病の重症化予防に、保健師による保健指導等を取り組んでいる。今後も関係機関から意見を聞く中で、体制を整えていきたい。

## 議案第73号

平成28年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案

### 国の保育料軽減策の具体的内容は

**Q** 国の保育料軽減策実施の準備のために必要な経費を補正するとのことだが、国の軽減策の具体的な内容は。

**A** 現在国の基準では、保育料の算定において2人以上子どもがいる世帯に対して、兄弟姉妹が保育所などに通園している

場合、算定する兄弟姉妹の年齢に制限を設けて、2人目を半額、3人目を以降を無償にする保育料軽減を行っている。

これを、年収およそ360万円未満の世帯において、兄弟姉妹の年齢制限なしで判定し、2人目を半額、3人目を以降を無償にすること。さらに、年収およそ360万円未満の一人親世帯などで、1人目を半額、2人目を以降を無償とすることが、その内容である。

**Q** 市は独自に多子世帯向けに保育料軽減策を行っているが、国の軽減策を実施した場合どうなるか。

**A** 国の基準での軽減策と市の独自の軽減策との併用をすることになる。

※参考(市の多子世帯向け保育料軽減策) 同一世帯で18歳未満の兄弟がいる場合の保育料を、第3子50%軽減、第4子70%軽減、第5子以降は無料としている。

## 管内視察を実施しました

実施日: 28年4月19日

調査項目、視察先等

- ①入舟認定子ども園 芝生園庭の維持管理(東野)
- ②小中連携・一貫教育推進事業(飯田東中学校)
- ③飯田市美術博物館 プラネタリウム運営事業
- ④健和会かなえの里
- ⑤高校生等次世代育成事業(飯田OIDE長姫高等学校)
- ⑥社会体育施設大規模改修事業(松尾総合運動場)
- ⑦座光寺つどいの広場施設改修事業
- ⑧丸山共同調理場
- ⑨飯田仏教保育園増築事業(橋南)



飯田OIDE長姫高等学校



健和会かなえの里



入舟認定子ども園

# 産業建設委員会

4月20日に管内視察、6月9日に委員会を開催しました。委員会での質疑等及び管内視察の様相を紹介します。

## 議案第71号

### 財産の処分について

#### 案件の概要

産業用地として基金で取得した用地の一部を売却したいとするもの

### 残りの土地の売却見込みは

**Q** 今回、市が取得した土地の51パーセント相当分の売却にとどまるが、残りの土地の売却の見込みは。

**A** 今回売却する土地は、概ね2年以内に企業立地される見込みである。土地を購入する企業側では、中長期的計画に沿って対応することであり、残りの土地についても3年以内に取得する旨の覚書を締結している。

**Q** 今回売却する土地の道路の向かい側に用地が残るが、これも売却の予定があるか。

**A** これについても、緑地としての利用として、次回売却する予定である。

### 陳情の審査結果

#### 陳情第212号

(28年第1回定例会からの継続審査)

★陳情者 飯下建設産業労働組合連合会  
会長 壬生 一氏

■慎重な審査の結果「採択」としました。

#### ★陳情の趣旨

市に対し、公共工事設計労務単価引き上げを受け、建設労働者の適正賃金確保に向けた取り組みを求める。

#### ★委員会での主な意見

○国からの要請内容を検討すると、この問題解決のためには、それぞれの立場からの働きかけが必要であり、陳情に至る経過や趣旨は理解できる。陳情者から建設業団体への働きかけも必要であると考え、市も公共工事発注者の立場から、陳情項目に沿った働きかけも必要であり、採択。  
○陳情趣旨は理解できる。実効性の高い対応を検討されたい。採択。

### 管内視察を実施しました

実施日：28年4月20日

調査項目、視察先等

- ①東栄公園整備事業
- ②市道飯田564号線整備事業
- ③遠山簡易水道 屋敷水源改良事業
- ④高原口ツジ下栗屋内改修工事
- ⑤ハイランドしらび新館外壁塗装工事
- ⑥遠山郷温泉トラフグ養殖施設整備
- ⑦上村下栗地区 市道整備状況
- ⑧耕作放棄地事業・新規就農者対策事業(下久堅)
- ⑨産業用地整備事業(龍江)
- ⑩南信州・飯田産業センター(EMCセンター)
- ⑪知の拠点整備事業 旧飯田工業高校
- ⑫座光寺スマートインター整備、座光寺上郷道路関連
- ⑬座光寺地区野生獣侵入防止柵



南信州・飯田産業センター(EMCセンター)



東栄公園整備事業



座光寺地区野生獣侵入防止柵



遠山簡易水道 屋敷水源改良事業



# リニア推進特別委員会

6月13日に委員会を開催しました。委員会での質疑等の様子を紹介します。

「リニア駅周辺整備検討会議について」として、第6回の会議内容に関し説明があり、協議しました。

**Q** リニア駅及びその周辺の整備・まちづくり等に関するアイデア募集に寄せられたアイデアは多岐にわたっている。リニア駅周辺整備基本計画を検討する段階で整理されたものも含まれていると考えるが、計画の検討において、基本構想からどこまで自由度を持たせられるか。

**A** アイデアは基本構想をまとめた上で募集したが、幅広い層から応募いただいた。寄せられたアイデアは、基本構想を基として、方針を検証するかたちで個々の提案を検討する予定である。基本的な方針に沿わない提案も、始めから除外を考えるものではない。駅周辺整備に求めたいものが、基本方針と違う形で提案されている場合もあり、基本構想と比較して検証したい。

**Q** 個々の提案を検討すると、駅周辺整備区域には入りきらないものや、整備区域外で良いものもあると思う。その時に、駅周辺整備区域とは別に、市がリニアを生かすための機能とし必要な提案であれば尊重すべきと考えるが、そのような捉えがでるか。

**A** 今回の、基本計画の検討は、駅周辺整備区域の6・5ヘクタールがどうある

べきかをまとめることである。しかし、駅周辺整備区域の機能の考え方は、市全体のまちづくりや、魅力を整理し、そのあり方を見極めたうえで、整備区域内には何が必要か、個々の提案を検討していく必要があると考える。また、整備区域のあり方を考えた時に、さらに発展し、市のまちづくりの方針である拠点集約連携型都市構造の考え方に沿って、他の拠点で担うべき機能も、まちづくりのあり方や、土地利用のあり方とあわせて整理する必要がある。寄せられた提案は大いに参考にし検討していきたい。

**Q** 駅周辺整備区域の6・5ヘクタールの規模は、必要な機能を積み上げて精査したが、今回募集したアイデアは、機能をさらに付加するものか。

**A** 整備区域の決定にあつては、交通広場として必要な機能を整理し、それに加えて魅力発信、交流機能的な施設などを積み上げた。今回のアイデア提案を受け、今後は必要な機能を、より具体的な内容や、配置等に関し検討を進めていく。

**Q** アイデアの検討を進める一方で、駅周辺整備区域を決定する際に、地元の要望に沿うかたちで、コンパクト化した経過もある。6・5ヘクタールを積み上げた経過に立ち返り整備計画を検討すべきと考えらるかどうか。

**A** 整備計画は、地元の皆さんの合意なくして進めるものではない。基本構想で積み上げた機能を基本にして、今回のアイ

デアの応募を受け、幅広く検討を行い、全体の整備計画を示していくものである。あらためて地元の皆さんの理解をいただいたうえで、整備を進めていく。

**Q** 整備スケジュールにおいて、(仮称)駅周辺整備デザイン協議会による、全体的なデザインの監修が平成31年から35年までの長期間で予定されているが、駅周辺施設の実施設計までに終了していきなくてよいか。

**A** 駅周辺では、平成39年のリニア開業を見据え、道路などの基盤工事を33年から、建物等施設工事を36年から施工できるように、それまでに実施設計等進める予定である。(仮称)駅周辺整備デザイン協議会は、

それまでの検討状況が生かされて、実施に向けて進められていくように協議調整をする体制であり、周辺施設工事の実施設計の頃まで、協議会組織を残したいと考えている。



## 広報広聴委員会が管外視察を実施しました

実施日：28年5月10日・11日

視察先・調査項目

長野県 松本市議会

- ①議会ステップアップ市民会議
- ②定例会ごとの議会報告会
- ③各種団体との意見交換会
- ④議会出前講座

長野県 飯綱町議会

- ①政策サポーター制度
- ②議会だよりモニター制度
- ③住民と議会との懇談会

新潟県 柏崎市議会

- ①市民アンケート
- ②議会報告会
- ③委員会のインターネット映像配信



松本市議会での視察の様子

### 飯田水引のバッジを寄贈いただきました

5月25日、飯田水引協同組合から、議場に飾られている大きな水引装飾（縦1.4メートル、横1.6メートル）のレプリカを市に、バッジを市議会にそれぞれ寄贈いただきました。

市議会では水引のバッジを着用し、伝統工芸である飯田水引の魅力を対外的にアピールしていきます。



### 地元産材のネームプレート(名札)を作成しました

地元産材である飯田市産ヒノキと遠山杉でできたネームプレートを全議員が作成し、第2回定例会から着用を始めました。

地元産材の素晴らしさや森林の大切さを市議会として率先して広めていくよう、寄贈いただいた水引のバッジとともに胸元に着け、地元産業のPRに努めていきます。



会事務局に連絡をお願いします。

等大勢での傍聴の際は事前に議

事前予約は要りませんが、団体

傍聴にお越しく下さい。

自由に傍聴いただけます。ぜひ

本会議、委員会とも個人、団体で

きごたえがあった。

近な課題を議論されており、聴

き取りにくいことがありました。

方によって、声の大きさなのか聴

◇傍聴席で聴いていて、話している

第2回定例会の傍聴された方からアンケートで寄せられた意見を紹介します。



第2回定例会 傍聴席の様子 (一般質問2日目)

市議会ウォッチング



### 議会中継をしています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビの地上デジタル12ch(結チャンネル)及び714chで中継しています。また、一般質問の様をユーストリーム(インターネットによるオンライン動画配信サービス)で中継しています。ぜひご覧ください。http://www.city.iida.lg.jp/

### 編集後記

第2回定例会は、4期目への出馬表明した牧野市長の所信、代田昭久新教育長の教育に対する抱負、熊本地震を教訓に飯田市が点検すべき防災計画、そして、工事が間近に迫るリニア関連工事に伴う移転などについて各議員から質問が相次いだ。いずれも重要なテーマであり、今後の市政の方向に関わる疑問がなされた。

市長は航空宇宙産業を中心とした産業の拠点づくりに意欲を示し、教育長はICT教育の導入に積極的な姿勢を示した。防災についても今後の課題が示され、リニア関連工事についても移転戸数が初めて明らかにされた。大きな変化のうちにある飯田市、それだけに議会に求められる役割の大きさを痛感した。

### 議会の動き(次回定例会の予定)

- 議会による行政評価(7月～9月)
- 次回定例会に向けた議会への請願・陳情の締め切りは8月24日(水)午後5時です。
- 第3回(9月)定例会は8月30日(火)開会です。

### 広報広聴委員会

委員長	村松まり子	副委員長	福沢 清
委員	竹村 圭史	木下 徳康	熊谷 泰人
	森本 政人	小倉 高広	吉川 秋利